

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査日	2017年	7月	25日	記入者	久門たつお
調査者名	亀田	久門	鈴木	関	橋詰

調査対象先	徳融寺(融通念仏宗)				
所在地	奈良市鳴川町25			電話番号	
代表者 調査対応者	阿波谷俊一(あわたに・しゅんいち)住職 対応は阿波谷俊宏(しゅんこう)前住職				
対象文化財	彫刻	県指定: 1件	国宝: 1件	重文: 1件	
	建造物	県指定: 1棟	国宝: 1棟	重文: 1棟	

地震対策

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済 <input type="radio"/> B:一部実施済 <input checked="" type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	
	今後の予定	
	要望	
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input checked="" type="checkbox"/> その他(県指定文化財の本堂の地震対策が必要かどうかについて、まだ檀家会とは話し合っていない。)
	今後の予定	特にない。
	要望	本堂は寛文7年(1667)再建の入母屋造本瓦葺きで、雨漏りが生じたため昭和58年に大半の瓦を取り替えた。ゆくゆくは行政に耐震診断を行っていただければありがたい。

防火対策

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済 <input type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	本堂や旧本堂などで20年ほど前に火災報知器を設置した。消火器も配備している。
	今後の予定	落雷による火災予防のため檀家会と協議し、近い将来、避雷針を設置する。
	要望	特にない。
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他( )
	今後の予定	
	要望	

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先	徳融寺(融通念仏宗)
-------	------------

獣害・白アリ等の対策		
① 獣害等被害	<input checked="" type="radio"/> A: 経験あり	<input type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答がAの場合	どのような被害か	旧本堂の庫裡の床が白アリの被害にあっているのが5年ほど前に見つかり、補修した。10年ほど前まで鐘楼でハトのフン害があったが、カラスを避けるようになったのか、その後は減った。
③ 今後	今後の予定、要望	特になし。

県指定文化財の徳融寺本堂(正面)	寛永9年(1632)建造の奈良市指定文化財、毘沙門堂
------------------	----------------------------



慶長16年(1611)建造の旧本堂の庫裡	奈良時代右大臣・藤原豊成の娘とされる中将姫の墓
----------------------	-------------------------



観音堂の赤ん坊を抱いた珍しい子安観音立像	【調査票記入者(久門たつお)の感想】
----------------------	--------------------



寺域は奈良時代の右大臣、藤原豊成の邸宅跡の一部で、娘の中将姫に関する伝承や2人のものとされる墓もあり、歴史が息づく。県指定の本堂の防火対策は取られており、地震への備えが課題となる。